

事業所名： グループホーム万年青

作成日： 令和 5年 2月 8日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	毎月、身体拘束廃止専門医委員会会議を事例の有無を中心に開催しているが、「身体拘束をしないケア」を継続するために、ケア方法の職員間の共有や拘束の弊害を学ぶ研修の工夫や持ち方の検討が必要である。	毎年おこなっている、スピーチロックや身体拘束禁止対象となる行為以外の勉強会を検討し、身体拘束の無いケアの継続と知識の向上を図る。	インターネットや本等を活用し、認知症に係わる身体拘束事例検討や身体拘束について新しい情報や知識を学び、日々の介助や対応に活かせるようにする。	12 か月
2	10	「万年青だより」は、利用者一人ひとりの写真や活動状況がわかるよう、個別に作成し、コメントを添えて家族に送付し喜ばれているが、事業所全体の活動状況が分かる写真等の追加も望ましい。	個別の「万年青だより」だけでなく、全体の活動の様子もご家族に把握していただき、利用者の日々の活動の様子や状況を知っていただく。	個別に作成している「万年青だより」は継続しながら、運営推進会議用に作成している事業所全体の活動の様子写真を個別で作成している「万年青だより」にも反映させ、個人・全体の活動状況がわかる工夫をおこなう。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。